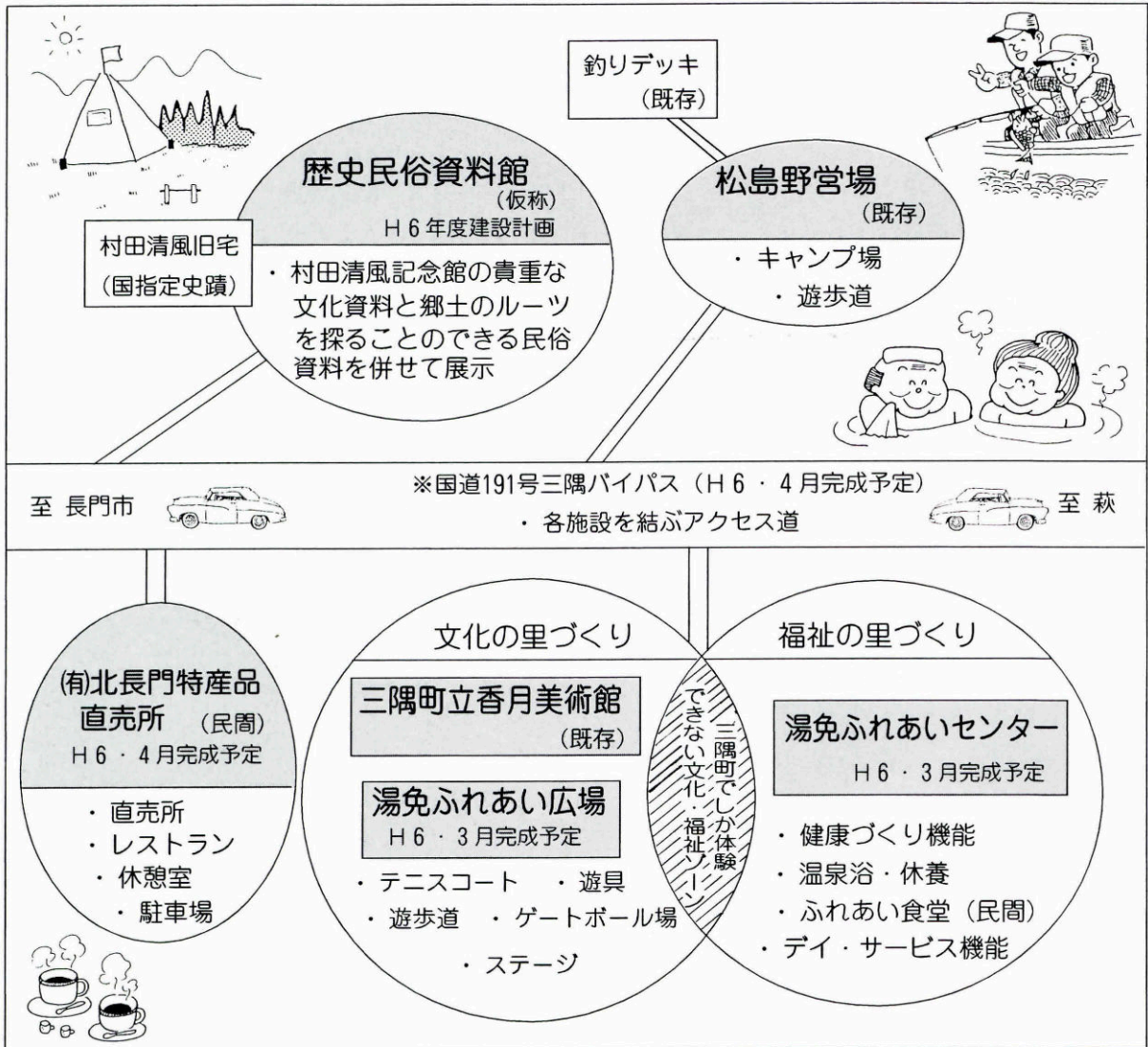


新 しい可能性へ挑戦するために

今、本町では全国から町立香月美術館のオープンにより本町へ訪れる人が多くなっています。(オープンより2か月で約1万人) 今後「湯免ふれあいセンター」「歴史民俗資料館」(仮称)等が計画・建設中ですが、これらの事業が完了するとより一層、三隅町へ訪れる人の増加が見込まれるため、それらに対応した柔軟なまちづくりや新しい観光ルートの確立が必要になってきます。そこでその流れは次の様に予想されます。



歴史 史民俗資料館

をより充実した
ものにするために

「文化の里づくり」整備事業の中で、美術館の隣へ歴史民俗資料館(仮称)を建設する予定でしたが、この度、12月の議会全員協議会において、沢江の清風記念館の場所に変更することが決定しました。清風記念館は築後40年経過しており老朽化が進んでいます。また収集された豊富な民俗資料を併せて収蔵、展示すること、より一層の充実した施設となります。

今 後のために

このように本町では現在、歴史・文化・民俗・福祉・レジャー等の諸整備が計画・進行中です。今後、余暇時間の増大等によるレクリエーション・芸術活動の増大等、人々の生活価値観(ライフスタイル)の多様化が進む中、三隅町の持つ文化・教育・娯楽・郷土性を取り入れた個性豊かなまちづくりを進め、三隅町へ訪れた人々が、感動を覚え、再度この町を訪れる様に町民の皆様の協力で実現する事が望まれます。